



金光図書館創立記念講座

『江口市太校長と中山亀太郎』

えぐちいち た なかやまかめたろう
解説：^{といたけいしろう}戸板啓四郎氏（中庄の歴史を語り継ぐ会）



中山亀太郎(右から三人目)の校長時代の「江口市太校長」
江口校長（右から3人目）

○日時：平成29年9月13日（水）

午前10時より11時30分

○場所：金光図書館 1Fホール（教庁1Fホール）

○解説：^{といたけいしろう}戸板啓四郎氏（中庄の歴史を語り継ぐ会会長）

○参加費：無料

参加申し込み締め切り 8月31日（木）

大正3年、中庄小学校に新任の校長が就任した。

名前は江口市太。彼がまず行ったのは、一人の少年の入学を許可したことだ。その少年は、両手と片足を列車事故でなくした少年であった。

「達者な者は百姓にでもなれるが、不自由な身体の者こそ学問をさせてやるべきだ。」

江口校長は、障がいをもったその少年、中山亀太郎を編入させ、学問の道へいざなった。

申し込み・問い合わせ先

金光図書館（担当 岡田・北林）

(0865) 42-2054